（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ノーサイド新宿ミュージックケア			
○保護者評価実施期間	2025年　7月　1日	～	2025年　8月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	18	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2025年　9月　1日	～	2025年　9月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　9月　30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法を核とした支援プログラムを提供している 夏休み・冬休みにはコンサートを実施し、季節の行事でも音楽を取り入れている	音楽療法士が在籍し、担当の日は音楽療法をメインに支援プログラムを行っている。参加児童の発達段階や興味関心に応じたプログラムを計画し、音楽を通して楽しく自然に体を動かす等の活動を意識している。	スタッフ間の勉強会にて、ケース共有・新手法の学習を行う。専門性を高めるため、学会参加・音楽療法士の外部研修・スーパービジョンを積極的に受ける。 ご家庭向けに、音楽療法のねらいや家庭でできる活動紹介を行い、理解と連携を強化していく。
2	外出イベントに力を入れ、月1回以上実施している	毎月のテーマや目的を決めて実施している。参加児童の特性や体調を考慮し、無理のない行程にするため、バリアフリー施設の選定、事前シミュレーションや下見を行っている。外出中も、自己選択・自己決定の機会を意識的に設けている。	社会性・集団行動・公共マナー・挑戦経験などの獲得ができるように支援していく。 外出イベントの様子を引き続き写真等でご家族に共有する。
3	一人ひとりに丁寧に向き合った支援を行なっている	同じ活動の中でも、一人ひとりの目標や発達水準に合わせた支援を行なっている。	医療的ケアに関する定期的なリスクマネジメント研修の実施。専門職との連携機会を増やし、個別支援の質を高める。 支援スタッフの技術力向上のための研修を実施。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	予約状況により、ご希望の日にやむを得ずキャンセル待ちとさせて頂く場合がある	定員、送迎車の積載人数、送迎ルート、スタッフ配置等の複合的な事情の為。	人員（ドライバー・支援員）の確保をしていく。
2	ご利用人数によっては、室内が狭いと感じることがある	車いすから降りて活動する際、特に感じている。	空間を広く使えるように、配置を工夫する。 今すぐには難しいが、より広い場所に移転も視野に入れる。
3			